

済美教育センター

【既定】	教育相談等運営	予算額	62,252 千円
【既定】	いじめ対策の充実	予算額	705 千円

区費スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等に係る予算は会計年度任用職員（専門）ほかに計上

**事業の目的・概要**

児童・生徒を取り巻く環境や社会の変化により相談要因が多様化しているため、児童・生徒それぞれの悩みや課題等に応じた支援を行うことを目的として教育相談体制の充実を図ります。また、不登校児童・生徒一人ひとりの状況に応じた多様な学びの機会を確保するため、学校や関係機関との連携を推進し、社会的自立に向けた支援を行っていきます。

**主な取組内容**

➤ **教育相談体制の充実 拡充**

児童・生徒一人ひとりの悩みや課題に適切に対応するため、学校内外の教育相談体制の充実を図ります。特に、スクールカウンセラー<sup>※1</sup>の配置日数の拡充と、スクールソーシャルワーカー<sup>※2</sup>を拠点となる学校に配置し近隣校を巡回する方式へ段階的に変更することにより、児童・生徒や、保護者、学校の実情に応じた支援に取り組みます。また、不登校の未然防止や早期対応を目的として教育相談コーディネーター<sup>※3</sup>の資質向上等を目指し、児童・生徒の心の変化を早期に把握し組織的に対応できるよう、学校の教育相談体制を充実していきます。多様化する教育相談の要望に対応できるよう、済美教育センターの教育SAT<sup>※4</sup>と教育相談支援が連携し、学校を支援していきます。

- ※1 スクールカウンセラー…いじめや不登校等の未然防止や解決、学校内の教育相談体制のために配置している心理職の専門家
- ※2 スクールソーシャルワーカー…問題を抱えた子どもと家庭・地域・学校・関係機関等に対して調整・仲介役としての役割を担い、子どもを取り巻く様々な環境に働きかけ、子どもの生活改善を支援する福祉の専門家
- ※3 教育相談コーディネーター…学校の教育相談の中心を担う教員の校務分掌の名称
- ※4 教育SAT…指導主事、学校管理職経験者、相談員で構成され、児童・生徒にかかわる諸問題の解決支援を行う区独自の組織のこと（平成19年4月設置）

## ➤ 不登校対策の推進 **拡充**

増加傾向にある不登校児童・生徒に対して一人ひとりの状況・背景に応じた学びの場を確保するとともに、社会的自立を目指した支援を行っていきます。

教育相談グループ<sup>※5</sup>では、少人数の活動が適している不登校児童・生徒に対し、教育相談員が創作活動を中心とした支援を行いながら、さざんかステップアップ教室<sup>※6</sup>等、次のステップにつなげていきます。また、さざんかステップアップ教室では、教育相談員、教育指導員が不登校児童・生徒に寄り添い、個別指導、集団活動、体験的な活動を通して、児童・生徒それぞれの個別の状況に応じた支援を行います。さらに、校内別室指導支援事業として、各学校に不登校及び不登校傾向にある児童・生徒の教室以外の居場所を作り、ボランティアの支援員を配置します。また、一人ひとりの状況に応じた多様な学びの場を確保するため、学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）<sup>※7</sup>の設置に向けた検討を行っていきます。

※5 教育相談グループ…生徒が心理士と創作活動等を通して、安心できる人間関係をつくり、自分に合った学びの場を考えることを目的とする教育相談の事業のひとつ

※6 さざんかステップアップ教室…不登校となった児童・生徒が集団活動を通して社会性を育み、社会的自立に向けた支援を行うことを目的とした教室のこと

※7 学びの多様化学校…不登校児童・生徒を支援する特例の教育課程を編成して教育を実施する学校

## ➤ いじめ対策の充実

いじめ対応については、杉並区いじめ問題対策委員会（法律・医療などの専門家5名で構成）からの専門的な知見に基づく助言及び学校への日常の支援、弁護士や警察関係者等の専門家を講師とした研修などにより、学校管理職、生活指導主任等の教職員を通じて、早期発見、初期対応及び組織対応の重要性を丁寧に指導していきます。

また、児童・生徒に向けて、いじめ防止対策に関するポスターやカードの作成により啓発を行います。

さらに実際の対応の中では、学校でのいじめ対策委員会の開催や記録の必要性などについて、教育SATや指導主事を中心に指導・助言を行うことで学校を支援していきます。